

平成26年度 都市農村共生・対流総合対策交付金事業実施地区 評価結果 【北海道】

1. 事業評価の実施

平成26年度に実施された「都市農村共生・対流総合対策交付金」の事業について、「都市農村共生・対流総合対策交付金実施要綱」(平成25年5月16日付け25農振第393号農林水産事務次官依命通知)第2の7の(3)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

平成26年度に交付金事業を実施した北海道内の28地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。その結果、優良と認められる地区が17地区、良好と認められる地区が11地区との評価結果となった。

3. 各地区の評価結果

【子ども農山漁村交流】 3件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
				H25	H26	H27	H28		
農村振興局	北海道	苫小牧市 厚真町 安平町 むかわ町	東胆振子どもグリーンツーリズム推進連合会	●	●	○□		A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。
農村振興局	北海道	上富良野町	上富良野地域活性化協議会	●	●	○□		B	総合的に目標の達成状況が良好と認められる。
農村振興局	北海道	東川町	ひがしかわ子ども農村体験交流推進協議会		●	○	○□	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。

【地域資源の活用やボランティアを取り込んだグリーン・ツーリズム】 8件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
				H25	H26	H27	H28		
農村振興局	北海道	栗山町	栗山町都市農村共生・対流促進協議会	●	●	□		A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。
農村振興局	北海道	七飯町	南北海道グリーン・ツーリズム運営連合会	●	●	□		A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。
農村振興局	北海道	日高町	日高地域活性化協議会	●	●	○□		A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。
農村振興局	北海道	倶知安町	特定非営利活動法人WAOニセコ羊蹄再発見の会	●	●	○□		B	総合的に目標の達成状況が良好と認められる。
農村振興局	北海道	黒松内町	黒松内町農山村資源活用地域協議会	●	●	□		A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。
農村振興局	北海道	南幌町	特定非営利活動法人ふらっと南幌	●	●	□		B	総合的に目標の達成状況が良好と認められる。
農村振興局	北海道	大樹町	有限会社インカルシペ白樺	●	●	○□		B	総合的に目標の達成状況が良好と認められる。
農村振興局	北海道	秩父別町	秩父別町都市農村共生・対流促進協議会		●	○	□	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A・・優良 B・・良好 C・・低調

【集出荷などを通じた地域内外の連携】 1件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
				H25	H26	H27	H28		
農村振興局	北海道	留萌市	るもい農業「人」と「食」の交流推進協議会	●	●	○□		A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。

【定住・集住等の環境整備】 4件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
				H25	H26	H27	H28		
農村振興局	北海道	岩見沢市	いわみざわ「有機と福祉の農業」協議会	●	●	□		B	総合的に目標の達成状況が良好と認められる。
農村振興局	北海道	旭川市	西神楽エコ農村共生対流推進協議会	●	●	○□		A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。
農村振興局	北海道	浦河町	地域連携会議リバイタライズ浦河	●	●	□		A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。
農村振興局	北海道	清里町	まちづくり推進清里地域協議会		●	○	□	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。

【市民と連携した農業被害の防止】 1件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
				H25	H26	H27	H28		
農村振興局	北海道	新得町	農業生産法人(株)ドリームヒル・トムラウシ	●	●	□		A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。

【「食」を活用し観光と連携したグリーン・ツーリズム】 5件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
				H25	H26	H27	H28		
農村振興局	北海道	剣淵町	絵本の里けんぶち VIVAマルシェ	●	●	□		A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。
農村振興局	北海道	富良野市	富良野「食」と「観光・健康・教育」開発会議	●	●	□		B	総合的に目標の達成状況が良好と認められる。
農村振興局	北海道	中標津町	なかしべつグリーン・ツーリズム推進協議会	●	●	□		B	総合的に目標の達成状況が良好と認められる。
農村振興局	北海道	八雲町	八雲町産業連携促進協議会		●	○	□	B	総合的に目標の達成状況が良好と認められる。
農村振興局	北海道	新十津川町	しんとつかわで心呼吸。推進協議会		●	○	□	B	総合的に目標の達成状況が良好と認められる。

【農山漁村における大学・企業等との研修等】 1件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
				H25	H26	H27	H28		
農村振興局	北海道	名寄市	名寄市グリーンツーリズム推進協議会	●	●	□		B	総合的に目標の達成状況が良好と認められる。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A・・優良 B・・良好 C・・低調

【「農」を活用した医療・福祉との連携】 2件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
				H25	H26	H27	H28		
農村振興局	北海道	新得町	十勝ソーシャルファームツーリズム研究会	●	●	○□		A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。
農村振興局	北海道	苫小牧市	苫小牧市浜とまちの元気共生・対流推進協議会		●	○	□	B	総合的に目標の達成状況が良好と認められる。

【地域提案型活動】 3件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
				H25	H26	H27	H28		
農村振興局	北海道	興部町	食を考える協議会	●	●	□		A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。
農村振興局	北海道	鹿追町	鹿追町地域資源活用ふるさとづくり協議会	●	●	□		A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。
農村振興局	北海道	浦幌町	うらほろスタイル推進地域協議会		●	○	○□	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○●交付対象年度(計画) ●●交付対象年度(実施済) □●目標年度(計画) ■●目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A●優良 B●良好 C●低調

4. 第三者機関の意見聴取

都市農村共生・対流総合対策交付金実施要綱第2の7の(3)の規定に基づき、第三者機関である「都市農村共生・対流総合対策交付金等評価委員会 ※」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

※都市農村共生・対流総合対策交付金及び「農」のある暮らしづくり交付金に係る事業の評価を一括して実施。

【評価委員会 委員】

委員長：大江靖雄(千葉大学大学院教授) 委員：市田知子(明治大学教授)、扇谷徹(北海道農政部)、加藤由紀子(北海商科大学教授)、森久美子(作家)

【開催概要】

第1回評価委員会

- (1) 日時 : 平成27年7月16日(木) 9:00~11:15
- (2) 場所 : 農林水産省農村振興局第2会議室
- (3) 議事概要
 - ① 平成27年度評価対象地区の概要説明
平成26年度に事業を実施した28地区について、取組概要の説明後、質疑応答を行った。
 - ② 評価委員会の進め方について
本年度における評価の日程、第2回委員会(現地調査)の実施計画等について説明を行い、了承を得た。
- (4) 主な意見
 - 目標としている雇用については、一時的な雇用とフルタイムの雇用が混在しており、事業効果の把握という点では客観的に比較できるようにした方が良い。
 - ソフト事業の実施に当たっては、取組の背景にあるハード事業が非常に重要。評価の際にそのことが分かるよう、交付金事業地区で実施された国営事業名を整理してほしい。

第2回評価委員会(現地調査)

- (1) 日時 : 平成27年8月6日(木) 9:00~14:00
 - (2) 場所 : 北海道北見市、斜里郡清里町
 - (3) 概要
清里町の「まちづくり推進清里地域協議会」(取組メニュー：定住・集住等の環境整備)を対象として、意見交換と現地調査を実施。
- 注：「農」のある暮らしづくり交付金に関する現地調査を同日に実施。

第3回評価委員会

- (1) 日時 : 平成27年9月16日(水) 9:30~13:30
- (2) 場所 : 北海道庁7階 農政部第1中会議室
- (3) 議事概要
平成26年度に事業を実施した28地区について、評価(案)を説明し、各委員から意見を頂いた。
- (4) 主な意見
 - 諸般の事情によって活動内容を大きく変更した場合は、予算額の見直しを行った上で評価するようにした方が良いのではないかと。
 - 評価における雇用の考え方が地区によって様々であり、数字のみの判断で過小評価している地区が見受けられる。